

## —低温科学研究所 共同研究集会—

### 「南極海洋—海氷—氷床システムの相互作用と変動」

日時：2016年 7月21日(木) 13:30~18:00

場所：北海道大学 低温科学研究所 2階講義室(215)

【プログラム】発表：一件 15分、敬称略

【東南極沿岸における氷—海洋相互作用とROBOTICA】(13:30-15:00)

13:30-13:45	青木茂(北大低温研)	ROBOTICA: これまでの進展状況
13:45-14:00	牛尾収輝(極地研)	リュツォ・ホルム湾変動と観測計画(将来計画および海氷モニタリング)
14:00-14:15	山之口勤(RESTEC)	衛星から見るリュツォ・ホルム湾変動
14:15-14:30	中村和樹(日本大)	衛星から見たリュツォ・ホルム湾変動(ALOS2を中心に)
14:30-14:45	平野大輔(極地研)	氷河—海洋相互作用(90年代観測およびモデルの解析結果)

(休憩 14:45-15:00)

【JARE58における観測について】(15:00-16:30)

15:00-15:15	清水大輔(極地研)	JARE58 ロジスティクス
15:15-15:30	田村岳史(極地研)	JARE58 サイエンスプラン
15:30-15:45	小野数也(北大低温研)	JARE58 低温研による開発要素
15:45-16:00	青山雄一(極地研)	JARE58 and beyond GNSS/GPS 観測(地圏モニタリング)
16:00-16:15	野村大樹(北大水産)	JARE58 and beyond 海氷コア解析(観測全般と分析体制の構築)

(休憩 16:15-16:30)

【総合討論】(16:30-18:00)

板木拓也(産総研)・菅沼悠介(極地研)	堆積物コアリングの可能性と新しいサイエンス
青木茂(北大低温研)	共通インフラとしてのROV開発の現状と今後
全員	JARE59次以降の観測計画について